

「消防団員入団促進キャンペーン」の実施

消防庁では、平成28年1月から3月までの間を「消防団員入団促進キャンペーン」期間と位置付け、地方公共団体等と連携し、消防団員の入団促進に係る広報の全国的な展開を図ります。

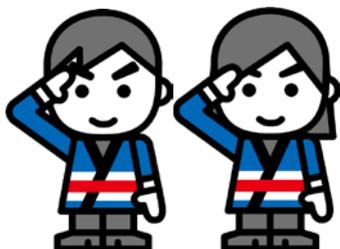
消防庁では、平成25年12月に成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を踏まえ、地域防災力の充実強化に取り組んでいるところですが、本年度も引き続き、関係団体と連携して、平成28年1月から3月までの間、同キャンペーンを実施します。

【推進事項】

- ・ポスター及びリーフレット等を活用した積極的な広報活動（別添1参照）
- ・女性、学生及び公務員等の積極的な入団促進
- ・「学生消防団活動認証制度」の活用
- ・「消防団協力事業所表示制度」の活用

（参考）

- ・平成27年4月1日現在の消防団員数について（別添2参照）



【担当】

消防庁国民保護・防災部地域防災室消防団係
（猪鼻課長補佐、山下係長、高村事務官）
TEL:03-5253-7561 FAX:03-5253-7576
E-mail: syobodan@ml.soumu.go.jp

消 防 地 第 2 9 7 号
平成 2 7 年 1 2 月 2 5 日

各都道府県知事 }
各指定都市市長 } 殿

消 防 庁 長 官

「消防団員入団促進キャンペーン」に基づく広報の推進について(依頼)

消防団を中核とした地域防災力の充実を図り、住民の安全の確保に資することを目的として、平成 2 5 年 1 2 月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立しました。この法律において国及び地方公共団体は、消防団への積極的な加入が促進されるよう必要な措置を講ずるものとされています。

消防庁ではこれまで、法律の趣旨を踏まえ、地域防災力の充実強化に取り組んでいるところですが、本年度も引き続き、関係団体と連携して、平成 2 8 年 1 月から 3 月までの間、同キャンペーンを実施します。

つきましては、各都道府県におかれましては、別紙の内容に留意の上、地域防災力の中核である消防団の重要性を改めて認識いただき、消防団員の入団促進に係る取組が効果的に推進されるよう配慮されるとともに、貴都道府県内の市町村（消防団の事務を処理する消防本部又は一部事務組合等を含む。）に対して本通知の周知と消防団員の入団促進に向けた積極的な助言を行っていただきますようお願いいたします。

また、各指定都市におかれましても同様に、消防団員の入団促進について積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和 2 2 年法律第 2 2 6 号）第 3 7 条の規定に基づく助言として発出していることを申し添えます。

【担当】

消防庁国民保護・防災部地域防災室消防団係
（猪鼻課長補佐、山下係長、高村事務官）

TEL:03-5253-7561 FAX:03-5253-7576

E-mail: syobodan@ml.soumu.go.jp

(別紙)

1 「消防団員入団促進キャンペーン」について

毎年3月末から4月にかけて消防団員の定年等による異動が多い状況を踏まえ、引き続き消防団員の確保の必要があることから、毎年1月から3月までを「消防団員入団促進キャンペーン(以下「キャンペーン」という。)」期間と位置付け、ポスター、リーフレット及び雑誌広告等(以下「ポスター等」という。)を活用した積極的な広報活動を行います。

なお、地域の実情により異動の時期が異なる場合にあっては、当該時期に合わせてキャンペーンを実施するよう適切に対応願います。

2 キャンペーンにおける推進事項

- (1) 消防団員の入団促進に当たっては、自主防災組織との連携等地域ぐるみの取組、被用者団員の増加に伴う消防団活動に対する事業所等の理解促進、女性、大学生及び公務員等をはじめとした入団促進について特に配慮するよう願います。
- (2) キャンペーンの実施については、ポスター等に加え、各地方公共団体の広報誌、ホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ、広報車の巡回等あらゆる広報媒体を積極的に活用した広報を実施するよう願います。
- (3) キャンペーン期間中に開催される各種行事において、ポスター等を活用した消防団員の入団促進に係る広報をお願いします。
- (4) 消防団活動に協力又はこれを支援した各種団体及び事業所等に対しては、積極的に表彰・顕彰制度を活用するなど、消防団活動への理解促進に係る機運を醸成するよう願います。
- (5) 将来の地域防災を担う人材を育成し、長期的に消防団員や地域の防災リーダーを確保することが重要です。そのため、発達段階に応じた防災学習の実施により、消防団を含めた地域防災力の充実強化への理解を深める機会を積極的に増やすよう願います。

3 「学生消防団活動認証制度」の活用

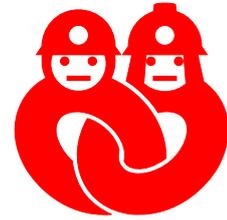
「学生消防団活動認証制度」は、真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、顕著な実績を収め、地域社会へ多大なる貢献をした大学生、大学院生又は専門学生について、市町村がその実績を認証することにより、就職活動を支援することを目的とした制度です。

本制度を導入している市町村にあっては、制度活用のメリットについて効果的な広報を実施し、入団促進につなげていくよう願います。他方、未だ導入していない市町村にあっては、この機会に併せて、速やかに導入を図るよう願います。

4 「消防団協力事業所表示制度」の活用

「消防団協力事業所表示制度」は、従業員の入団促進、消防団活動への配慮等、事業所として消防団活動に協力することが社会貢献として広く認められ、地域からの信頼性の向上につなげるとともに、事業所の協力を通じて、地域の防災体制が一層充実強化することを目的としている制度です。

キャンペーン期間中は、「消防団協力事業所表示制度」についても効果的な広報を実施し、積極的な入団促進を行うようお願いいたします。



「消防団協力事業所表示制度」
表示マーク

5 その他

- (1) 消防団員の確保については、年間を通じて取り組むようお願いしているところですが、本キャンペーンは重点的に広報を展開する時期と位置付けているものであり、消防団員の異動が多い時期を迎えるに当たり、特に積極的な取組をお願いいたします。
- (2) ポスター及びリーフレットについては、配付済ですので、ご確認ください。(別添1参照)
- (3) キャンペーンの実施に合わせて、当庁が所有する「消防団PRパネル」を貸与しますので、貸与を希望する場合は、当室までお問い合わせください。
- (4) 平成27年4月1日現在の消防団員数(確定値)は、別添2を参照してください。

(別添1)

街の自分のこと。さあ、

あなたにも
できることがあります。

消防団員 募集

〈高知県黒潮町消防団〉 浜田 康太郎さん

お問い合わせ先・電話番号

消防団に関する詳しい情報は… <http://www.fdma.go.jp/syobodan/>
消防団員募集の手続き等については、各市町村ごとに定められていますので、居住地(あるいは勤務地)の市役所・町村役場、または最寄りの消防署にお問い合わせください。



FDMA
住民とともに

消防庁

消防団協力事業所表示制度

twitter [消防庁]

守りたい未来、つながる未来がある。

さあ、
自分の
街の



〈三重県尾鷲市消防団〉 武田 怜さん

あなたにも
できることがあります。

消防団員 募集

お問い合わせ先・電話番号

消防団に関する詳しい情報は… <http://www.fdma.go.jp/syobodan/>

消防団員募集の手続き等については、各市町村ごとに定められていますので、居住地(あるいは勤務地)の市役所・町村役場、または最寄りの消防署にお問い合わせください。



FDMA
住民とともに

消防庁

消防団協力事業所表示制度

twitter [消防庁]

守りたい未来、つながる未来がある。

Q&A 消防団に関する素朴な疑問にお答えします！

Q 女性にもできる活動もあるの？

現在、約23,000人の女性消防団員が全国で活躍しています。女性の持つソフトな面を活かして、特に住宅用火災警報器の普及促進、一人暮らしの高齢者宅の防火訪問、住民に対する防災教育及び応急手当の普及指導等においては、女性消防団員が活躍しています。また、消火活動や後方支援、操法訓練にも参加しています。



Q 学生でも入団できますか？

市町村の条例に定める年齢に応じて入団できます。多くの市町村が18歳以上を要件としており、実際に大学生の消防団員も活発に活動しています。現在、学生の消防団員数は全国で約3,000人。学生等、若い力の消防団活動への参加が求められています。

Q 消防団と消防署ってどう違うの？

消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火・救助活動を行います。消防団員の身分は、非常勤特別職の地方公務員です。



ご存じですか？ 消防団にはさまざまな制度があるんです。

消防団協力事業所表示制度

事業所が消防団に協力することは、地域への多大な社会貢献となります。本制度は、消防団の活動に積極的に協力している事業所を「消防団協力事業所」として認定するものです。これらの事業所が増えることにより、地域防災体制の一層の充実が期待できます。



「消防団協力事業所表示制度」表示マーク

機能別消防団員・分団制度

より多くの方に参加いただくために、消防団には、機能別消防団員・分団という制度があります。それぞれの能力やメリットを活かしながら、特定の消防団活動や時間の許す範囲での活動ができます。

- 機能別団員
 - 火災予防・広報団員
 - OB団員
- 機能別分団
 - 大規模災害のみ活動する分団
 - バイク隊
 - 音楽隊

上記内容および消防団員募集の手続き等については、各市町村ごとに定められていますので、居住地(あるいは勤務地)の市役所・町村役場、または最寄りの消防署にお問い合わせください。

お問い合わせ先

街の自分のさあ、



あなたにも
できることがあります。

消防団員募集

守りたい未来、
つながる未来がある。



女性として働きながら、地域のために活動できることがたくさんあるんです!!

病院で事務の仕事をしていた関係で、もともと消防団の活動には興味がありました。決め手になったのは知人の紹介でした。尾鷲市には、女性だけで活動する「女性分団」があります。応急手当講習で地域の小学校へ行ったり、「火の用心」で地域を巡回する活動も行っています。勉強になることも多く、楽しく活動には参加しています。

会社員 永阪 なぎささん (三重県尾鷲市消防団)

会社員

夫が消防団員ということもあり、自然と入団していました。

私が住んでいる地域で大きな火災は少なく、予防啓発活動に力を入れています。活動時間も大体数時間程度で短めですので生活の中で大きな負担を感じることもありません。消防団メンバーの中で、適材適所・役割分担もされているので、できる範囲の活動で地域に貢献できているかなと感じています。

主婦 時吉 妙子さん (鹿児島県薩摩川内市消防団)

主婦

地域の方とのコミュニケーションの輪が、一気に広がりました!

入団のきっかけは、学校からの「学生消防団」の案内でした。東日本大震災を機に消防団の活動は気になっており、今の自分でもできることがあればと思い入団しました。学校では体験できない訓練活動、接する機会がなかった地域の方々とのコミュニケーション等、どれも新鮮な体験でした。今後はもっと地域の方とも交流を深めながら、地域防災に貢献していきたいです。

学生 高橋 駿さん (新潟県新潟市消防団)

学生

会社員

やりがいのある活動に多くの仲間。もっと早く入団すれば良かったです!

はじめは「子供が小さいうちは…」と、少し心配なところもありましたが、家族の理解と、地域の活動へ積極的な上司からの後押しもあり入団を決めました。仕事との両立も大きな負担にはならず、多くの仲間と救助や消火活動に関わる多くのことを学べ、入団して良かったという思いが今は強いです。

会社員 松田 裕之さん (神奈川県川崎市消防団)

あなたにもできること、きっとあるはずです。

地域に根ざす消防団。その活動をご紹介します。



平常時の活動



地域を災害から守るためには、住民の防災意識の向上が不可欠です。このため、火災予防や防災啓発などを積極的に行っています。



住民がいざというときに、疾患やケガに素早く対応できるよう、AEDの使い方をはじめとした応急手当の普及・啓発を実施しています。



各家庭に訪問し、防火啓発を行っています。災害時に支援が必要な方の把握に努めています。

救命講習会

防火啓発活動

消防団

住宅防火訪問

消火活動

救助活動

水防活動

災害時の活動

火災が起こった際は、自宅や職場から現場へ駆けつけて消火活動を行います。消防隊員よりも先に現場に到着することもあるため、初期消火や消防隊員の後方支援などをその場に応じて展開します。



地震や風災害などといった自然災害が発生した場合は、地形や道路網、世帯状況などを熟知した消防団員が、的確かつ迅速に救助・救出を行います。



台風や集中豪雨などにより、河川の氾濫や堤防の決壊が起きないように、土のう積みなどの防災活動を迅速に行い、地域の被害軽減に努めます。

消防団入団までの流れ

消防団に入団するには、まずはお問い合わせください。

STEP 01 問い合わせる

居住地(あるいは勤務地)の市役所、消防署までお問い合わせください。

STEP 02 入団手続き

自治体で定める年齢に応じて、入団することができます。(地域により、居住要件等がある場合もあります。)

STEP 03 あなたも消防団員に!

入団手続きが完了すれば、晴れて「入団」となります。

消防団に関する詳しい情報は…

消防団 検索



<http://www.fdma.go.jp/syobodan/>

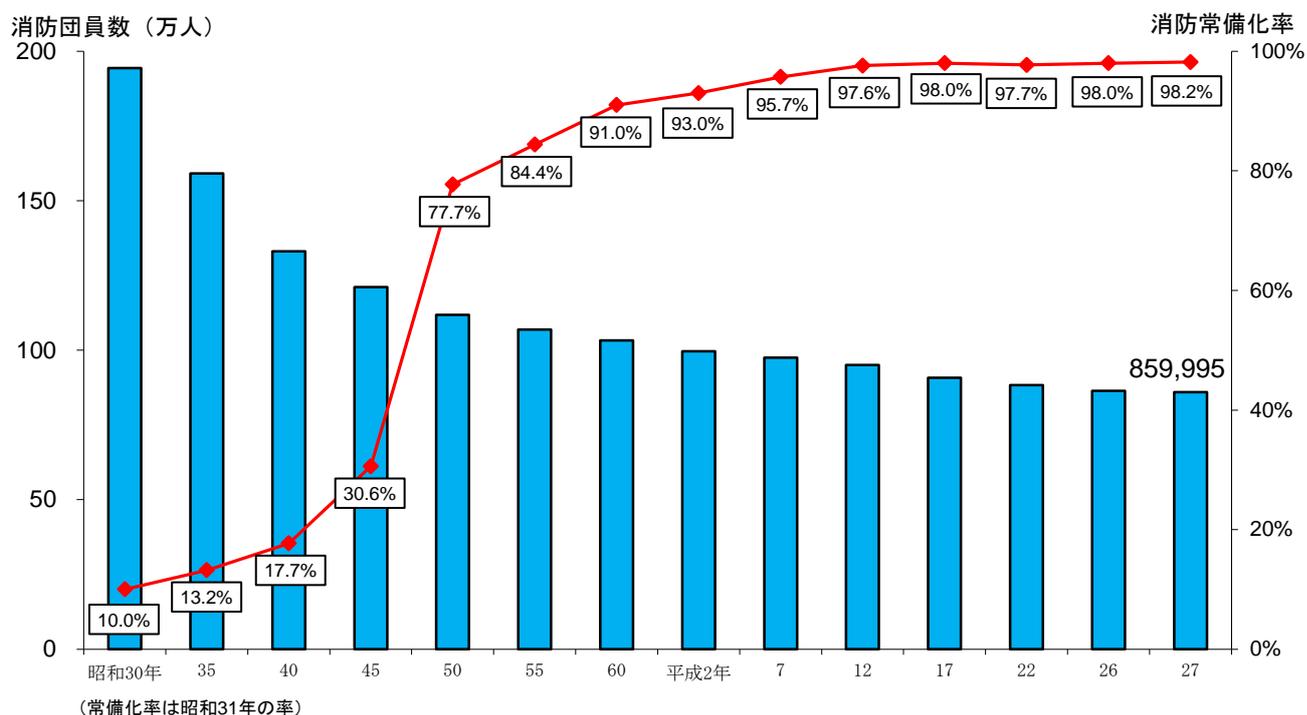
(別添2)

平成27年4月1日現在の消防団員数について<確定値>

消防庁地域防災室

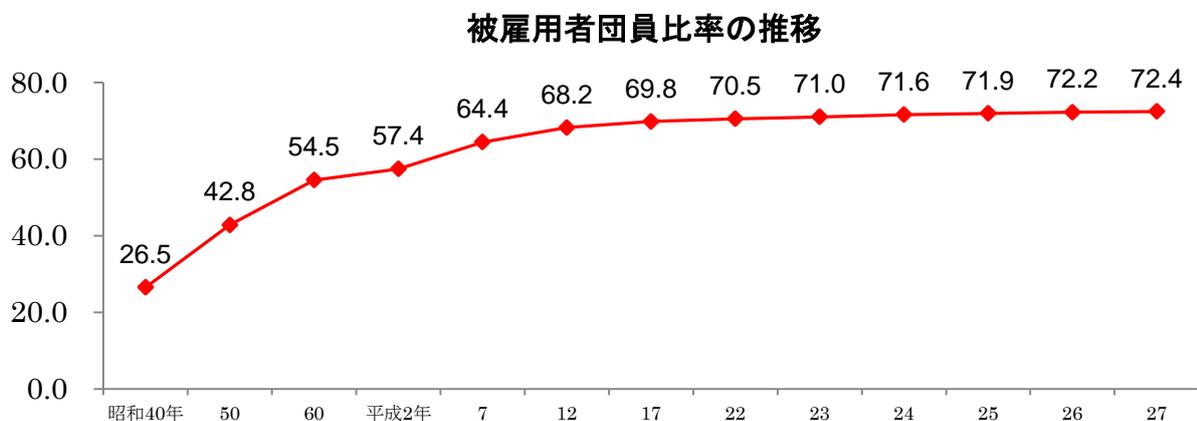
1 消防団・消防団員の現況

- ① 消防団数：2,208団（全国すべての市町村に設置）
- ② 消防分団数：22,549分団
- ③ 消防団員数：859,995人（前年度より4,352人減少）



2 被雇用者団員比率の推移

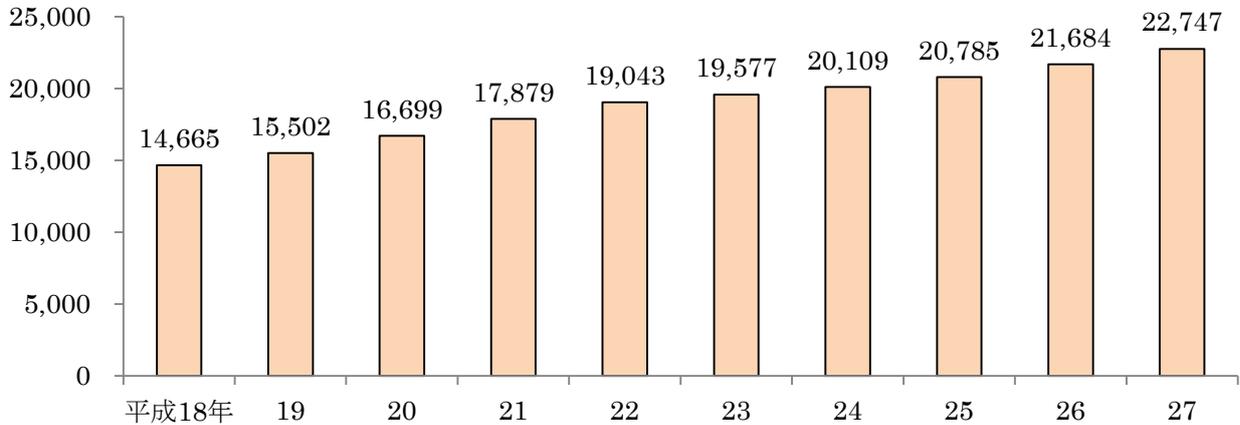
就業構造の変化により消防団員に占める被雇用者の割合が高くなってきており、被雇用者団員比率は72.4%となった。



3 女性消防団員数の推移

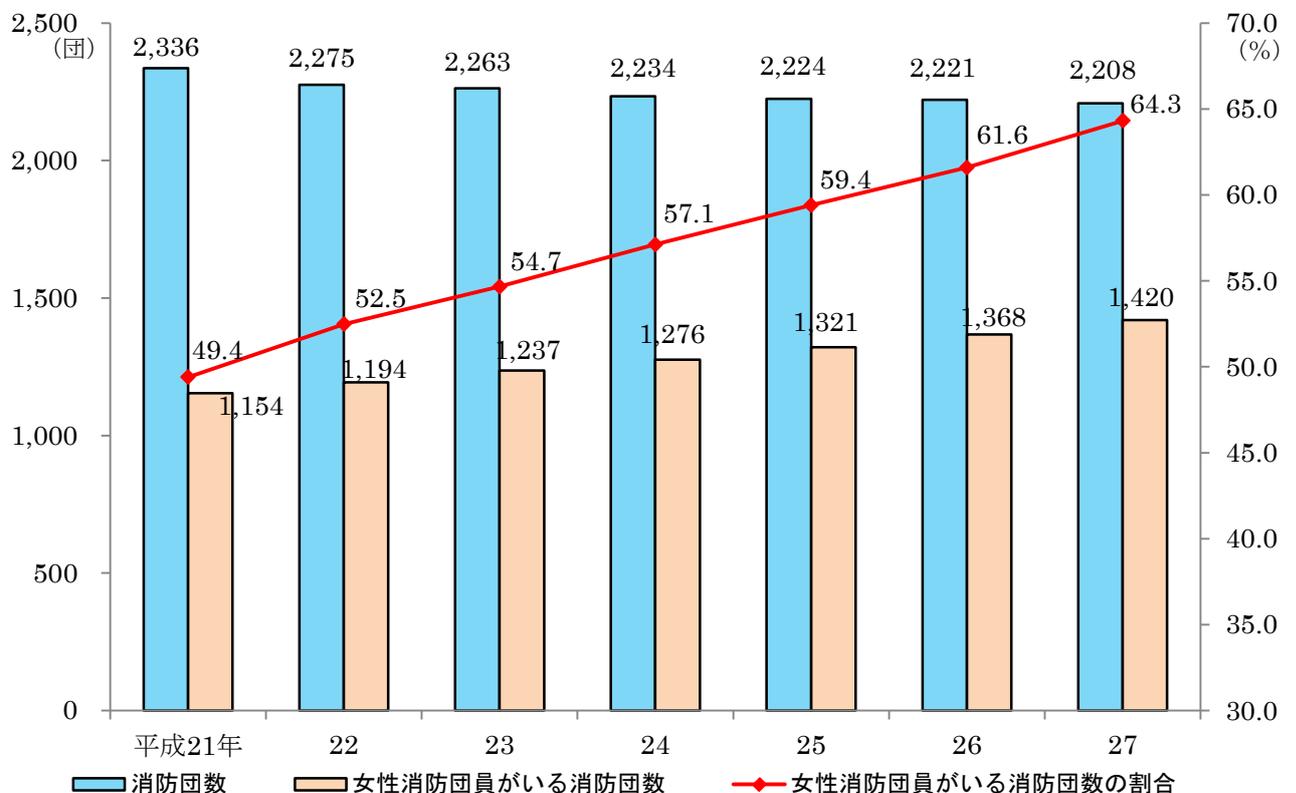
女性消防団員数は 22,747 人で全体の 2.6%であり、前年度より 1,063 人増加した。消防団員総数が減少する中でも、女性消防団員数は年々増加しており、9年前の平成18年に比べ、約 1.6 倍の 8,082 人増加した。

女性消防団員数の推移



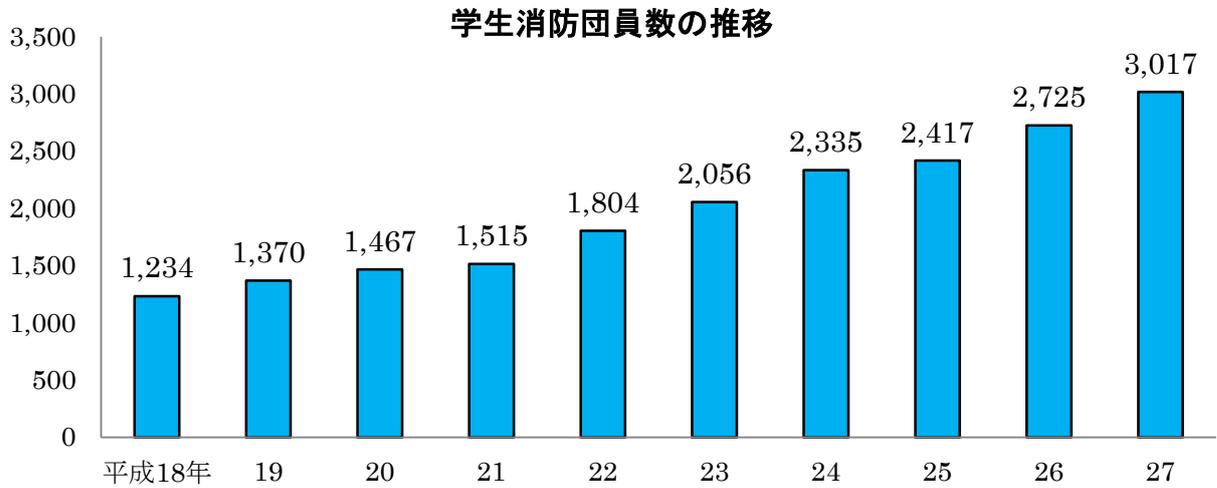
4 女性消防団員がいる消防団数の推移

女性消防団員がいる消防団数は 1,420 団で全体の 64.3%であり、前年度より 52 団増加した。



5 学生消防団員数の推移

学生（専門学校生を含む）の消防団員数は 3,017 人であり、前年度より 292 人増加した。学生の消防団員数についても年々増加しており、9 年前の平成 18 年に比べ、約 2.4 倍の 1,783 人増加した。



都道府県別消防団員数

(単位:人)

都道府県	平成27年4月1日現在		平成26年4月1日現在		増減	
	実員数	うち女性団員数	実員数	うち女性団員数	実員数	うち女性団員数
1 北海道	25,686	1,925	25,842	1,900	▲ 156	25
2 青森県	19,248	464	19,455	436	▲ 207	28
3 岩手県	22,202	445	22,415	419	▲ 213	26
4 宮城県	19,906	455	20,304	444	▲ 398	11
5 秋田県	17,320	326	17,491	317	▲ 171	9
6 山形県	25,562	401	25,590	350	▲ 28	51
7 福島県	34,094	188	34,465	187	▲ 371	1
8 茨城県	23,632	505	23,830	505	▲ 198	0
9 栃木県	14,875	188	14,983	163	▲ 108	25
10 群馬県	11,786	82	11,856	79	▲ 70	3
11 埼玉県	14,283	552	14,276	509	7	43
12 千葉県	26,368	517	26,557	470	▲ 189	47
13 東京都	23,315	2,548	23,500	2,568	▲ 185	▲ 20
14 神奈川県	18,099	1,135	17,994	1,086	105	49
15 新潟県	38,121	654	38,215	611	▲ 94	43
16 富山県	9,498	437	9,537	412	▲ 39	25
17 石川県	5,302	135	5,317	133	▲ 15	2
18 福井県	5,797	256	5,720	241	77	15
19 山梨県	15,174	94	15,127	78	47	16
20 長野県	35,311	992	35,370	933	▲ 59	59
21 岐阜県	20,770	470	20,649	408	121	62
22 静岡県	20,416	379	20,561	351	▲ 145	28
23 愛知県	23,189	626	23,430	585	▲ 241	41
24 三重県	13,847	479	13,900	449	▲ 53	30
25 滋賀県	9,188	160	9,178	155	10	5
26 京都府	17,838	554	17,941	515	▲ 103	39
27 大阪府	10,476	222	10,482	195	▲ 6	27
28 兵庫県	43,039	472	43,647	429	▲ 608	43
29 奈良県	8,566	278	8,534	280	32	▲ 2
30 和歌山県	11,872	235	11,878	216	▲ 6	19
31 鳥取県	5,127	158	5,136	152	▲ 9	6
32 島根県	12,222	269	12,409	284	▲ 187	▲ 15
33 岡山県	28,610	592	28,725	577	▲ 115	15
34 広島県	22,229	504	22,275	437	▲ 46	67
35 山口県	13,322	470	13,365	470	▲ 43	0
36 徳島県	10,880	183	10,975	177	▲ 95	6
37 香川県	7,722	148	7,660	117	62	31
38 愛媛県	20,451	581	20,543	595	▲ 92	▲ 14
39 高知県	8,256	297	8,214	284	42	13
40 福岡県	25,150	846	25,015	827	135	19
41 佐賀県	19,283	434	19,367	407	▲ 84	27
42 長崎県	20,053	263	20,201	255	▲ 148	8
43 熊本県	34,372	767	34,576	725	▲ 204	42
44 大分県	15,525	225	15,672	202	▲ 147	23
45 宮崎県	14,829	319	15,008	303	▲ 179	16
46 鹿児島県	15,475	373	15,488	307	▲ 13	66
47 沖縄県	1,709	144	1,674	141	35	3
合計	859,995	22,747	864,347	21,684	▲ 4,352	1,063